

「ピカチュウ大発生(3)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

フィルターの仕組みはよくわからなかったが、とにかくこれは、夏の花火を何倍も楽しくする、すばらしい「おまけ」である。



肉眼ではものすごい勢いで、ピカチュウが発生する。それもそのはず、火花の一粒一粒が全部ピカチュウになるのだ。しかし、写真に撮るのは意外にも難しい。ピントやシャッタースピードに工夫がいる。

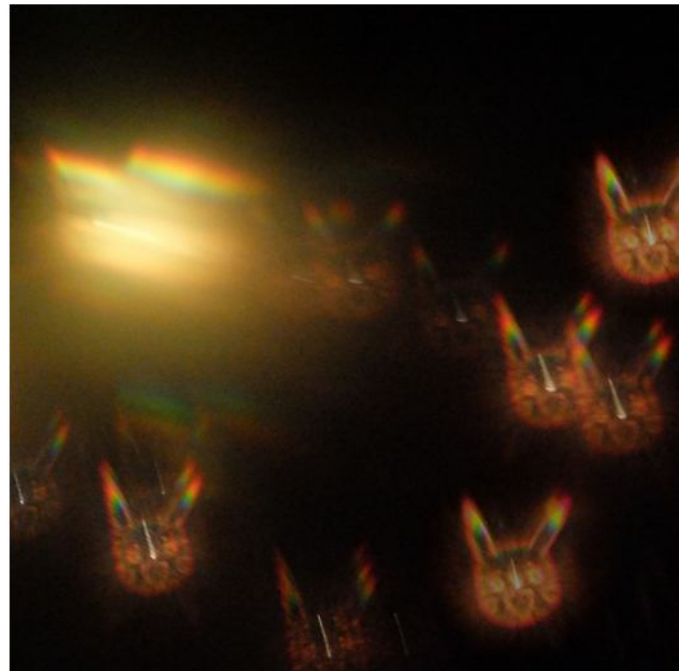


花火の種類も重要だ。ピカチュウ鑑賞に一番適しているのは、マグネシウム満載の「ススキ花火」である。火口を中心に、ピカチュウが大発生する。



それにしても、肉眼で見るようにはなかなか写らない。ぶれてしまったり、ピントが合わなかったり。撮影してみてわかったことは・・・

- ・一眼レフよりも、コンパクトデジカメのように、レンズ全体がフィルターで覆われるほうが良い。
- ・可能ならピントや露出はマニュアルにして、いろいろな条件で撮り、ラッキーイメージを探す。



何十枚も撮るうちに、写真上にもピカチュウが大発生するようになった。面白かった。